地方創生交付金事業の自己評価について

資料4

※　再掲事業については事業名のみ記載

【交付金について】

平成29年度は「地方創生推進交付金」で8つのパッケージ（97事業）、地方創生拠点整備交付金」で4つのパッケージ（4事業）を国に対し交付申請をしています。

基本目標	施策項目		施策概要		再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
Ⅰ 地域に働く場所をつくる・ひとを呼び込む	(1)	産業力の強化と成長産業の育成	①	新たな事業を始めようとする者（NewChallenger）に対する支援		推進	ベンチャー成長等支援事業費 【地域の強みと技術を活かした実需の創出！ＥＨＩＭＥものづくり関連産業活性化支援事業】	「愛媛のスゴVen.」掲載企業が、販路拡大に向けて自社の強みを最大限に生かしつつ商談や資金調達等を効果的に展開できるよう、事業戦略上の課題解決やプレゼン能力の向上を図るためのセミナーを実施した。	「愛媛のスゴVen.」掲載企業が、販路拡大に向けて自社の強みを最大限に生かしつつ商談や資金調達等を効果的に展開できるよう、事業戦略上の課題解決やプレゼン能力の向上を図るためのセミナーを実施した結果、スゴVen.企業の更なる成長とともに、本県経済の活性化につながった。
			②	県内企業の成長戦略を担う人材確保の支援		推進	プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業費 【都会で働く仕事のプロをエヒメへ！プロフェッショナル人材還流事業】	県内中小企業に対し、新事業や新販路の開拓など「攻めの経営」や経営改善への意欲を喚起し、その実践をサポートするプロフェッショナル人材の活用を促進した。	ＫＰＩ（プロフェッショナル人材の成約件数）が28年度の21件に対して、50件を達成するなど、順調に成果が上がっている。
							ＫＰＩ （目標年月日）	プロフェッショナル人材による相談件数 ［累計］（Ｈ31） 事業開始前　680件（Ｈ27）	実績　Ｈ28　723件 Ｈ29　1，169件 目標値　1，100件
			③	地元大学等と連携した地域産業を支える人材の地元就職の促進		推進	地元就職支援事業 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	就職支援連携協定締結大学と県内企業の協力を得て、県外学生の県内の企業におけるインターンシップの促進やマッチング支援を行った。 １　県外学生インターンシップ促進事業 ２　説明会等の実施　など	県外への人口流出に歯止めをかけ、県内中小企業等の人材確保を図るため、県外学生に対し、県内企業が実施するインターンシップへの参加促進や企業との交流会の開催、会社訪問、説明会の実施だけでなく、企業向けインターンシップ受入セミナーを実施するなどのマッチング支援を行い、一定の成果を残すことができたと考えられる。
						推進	産業教育設備充実費（農・水産業関係） 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	職業教育の充実のため、実験・実習設備を整備し、社会の変化や科学技術の進展に対応できる人材を育成した。	本事業において、伊予農業高校にクレーン付きトラック（4，721千円）を購入し、より現場に即した農業実習の充実を図った。 これにより、農業技術の習得、人材育成が可能となった。
			④	企業と地元大学・公設試等との連携の推進・支援		推進	炭素繊維関連産業創出事業費 【地域の強みと技術を活かした実需の創出！ＥＨＩＭＥものづくり関連産業活性化支援事業】	愛媛大学等との連携や役割分担により、新商品（船舶用炭素繊維製艤装品等）の開発や県内企業による炭素繊維加工事業への参入・集積化を促進した。	29年度はCFRP（炭素繊維強化プラスチック）成形・加工実習、愛媛大学や企業との共同研究等を実施。その結果、新たに８社が事業化に至り、９社が開発に着手するなど、成果が得られているところ。また大学や企業との共同研究を2件実施し、これについても新たな知見が得られた。

基本目標	施策項目	施策概要	再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
Ⅰ 地域に働く場所をつくる・ひとを呼び込む	(1) 産業力の強化と成長産業の育成	④ 企業と地元大学・公設試等との連携の推進・支援		推進	農商工ビジネス連携促進事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	農商工連携を促進するため、情報共有の場の提供、販路開拓に重点を置いた支援を展開した。 １　農商工連携ビジネスネットワークの運営や交流会の開催 ２　首都圏大型展示会での本県ブースの設置など	農林漁業者と商工業者の交流促進や連携体のマッチング、農商工連携ファンドを活用した商品開発、さらには、首都圏等での販路開拓等の支援を実施することで、農商工連携体の新商品の事業化を促進し、地域の産業力強化につながった。
				拠点整備	高機能素材研究実験棟整備事業費 【産業技術研究所「高機能素材研究実験棟」開設事業】	ものづくり中小企業の高機能素材に関する技術相談から共同研究、高機能素材を利用した試作品の製作までの機能を集約した高機能素材研究実験棟の整備を行った。	産業技術研究所において、「高機能素材研究実験棟」の整備を行い、高機能素材に関する研究開発効率を改善するための体制を整えることができた。
					ＫＰＩ （目標年月日）	設置した設備及び機器の使用件数 （H32） 事業開始前　—	実績　H28　0件 H29　0件 ※H30年4月より使用開始のため実績なし　目標値　13件
					ＫＰＩ （目標年月日）	高機能素材を活用した製品開発に関する協議 （H32） 事業開始前　—	実績　H28　0件 実績　H29　0件 ※H30年4月より使用開始のため実績なし　目標値　9件
				拠点整備	果樹研究センター等研究機能強化整備事業費 【果樹研究センターにおける新技術開発機能の強靭化事業】 【果樹研究センターみかん研究所における新技術開発の強靭化事業】	他産地にない魅力ある新品種の育成や、最新データ等を活用した高品質安定生産技術、輸出対応型の生産流通技術を開発し、県内生産現場への普及展開を図るとともに、新たなビジネスの創出を実現するため、同センター等の設備を時代のニーズに即した機能に強化し、更なる先進技術の開発を進めた。	かんきつ等栽培園かんがい排水施設、高機能ガラス温室、低温貯蔵棟、モニタリング装置等を整備することにより、魅力ある新品種の育成や最新データ等を活用した高品質安定生産技術等の開発が可能となった。
					ＫＰＩ （目標年月日）	愛媛果試第28号及び甘平における生産金額 （H32） 事業開始前　15.86億円	実績　H28　18.3億円 H29　27.3億円 目標値　112億円
					ＫＰＩ （目標年月日）	愛媛果試第28号の地域における導入面積 （H32） 事業開始前　78.3ha	実績　H28　113.6ha H29　(H31.3頃判明) 目標値　700ha
					ＫＰＩ （目標年月日）	5～7月の京浜市場での中晩柑橘の販売数量 （H32） 事業開始前　1,360t	実績　H28　1,354t H29　2,651t 目標値　7,850t
				拠点整備	林業研究センター拠点機能強化事業費 【林業研究センター拠点機能強化事業】	育成初期の成長が格段に早く、主伐後の再造林に係る育林経費の大幅な削減が可能となる「エリートツリー」やスギ花粉症に対応した「無花粉スギ」等の造林品種を研究するための施設を整備し、造林・育林分野の技術革新を図るとともに、他産業より発生率の高い林業における労働災害の防止を図るための研修施設を整備した。	エリートツリー研究棟、林業労働安全研修施設ともに、平成30年4月から施設の運営を開始。エリートツリー研究棟については、エリートツリー等の研究を開始、林業労働安全研修施設については、林業の新規就業者の研修に活用している。
					ＫＰＩ （目標年月日）	エリートツリー等の種子供給量 （H32） 事業開始前　0Kg	実績　H28　0kg H29　0kg ※H30年4月より使用開始のため実績なし　目標値　3.5Kg
					ＫＰＩ （目標年月日）	施設における研修受講者数 （H32） 事業開始前　0人	実績　H28　0人 H29　0人 ※H30年4月より使用開始のため実績なし　目標値　270人
					ＫＰＩ （目標年月日）	県産材原木の供給量 （H32） 事業開始前　530千㎥	実績　H28　541千㎥ H29　1,147千㎥ 目標値　3,172千㎥

基本目標	施策項目	施策概要	再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
Ⅰ 地域に働く場所をつくる・ひとを呼び込む	(1) 産業力の強化と成長産業の育成	⑤ 県内企業の営業力強化と販路拡大に向けた支援		推進	「すご味」・「すごモノ」データベース販路開拓支援事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	県外バイヤーとのマッチング商談会や首都圏展示会への出展によるビジネス機会の提供等により、県内生産者や事業者を支援する。 １　えひめが誇る「すご味」・「すごモノ」商談会の開催 ２　東京インターナショナル・ギフトショー等出展　など	大規模商談会の開催や首都圏で開催の展示会への出展等に、関係機関と連携して取り組んだことにより、県産品の販路開拓・販路拡大を効果的かつ効率的に展開することができた。
				推進	海外販路拡大支援事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	従来からの海外展開のターゲットゾーンである東アジア、東南アジアに加え、アメリカ、ヨーロッパ、中東を中心とした新たなターゲットの開拓を視野に入れた営業活動を実施する。 １　ヨーロッパやアメリカにおける営業活動　など	従来からの海外展開のターゲットゾーンである東南アジアや、重点ターゲットである欧米において、プロモーションや個別営業活動を実施したことにより、県産品の販路開拓・販路拡大を効果的かつ効率的に展開することができたほか、現地でのネットワークの構築・強化により、今後の営業活動の一助となった。
				推進	さくらひめブランド活用営業推進事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	デルフィニウムの新品種「さくらひめ」を活用した、イメージ戦略を展開し、地域ブランド力の向上と営業力の強化を図る。 １　さくらひめブランド戦略の企画・運営 ２　さくらひめプロモーションの実施　など	県が開発した花の新品種「さくらひめ」のイメージと名称をテーマに、働く女性をターゲットとした新商品開発やプロモーションの実施等のブランドイメージ戦略を展開し、これまでとは異なる手法による新たな営業活動を展開した。
				推進	海外重点市場販路拡大事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	従来から販路拡大に取り組んでいる東アジアに加え、本県との交流基盤がある市場のうち県内企業のニーズ・意欲がある国、地域を重点市場とし集中的に県内企業の販路拡大を支援する。 １　米国、豪州での海外販路開拓展開事業	これまでの国際交流や経済交流等によりつながった市場のうち、県内企業のニーズ・意欲がある国・地域を重点市場として位置づけ、販路開拓を推進した。
				推進	米国食品安全強化法緊急対策事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	県内事業者の海外への販路開拓・拡大に際して障壁となる輸出先国・地域の輸入規制等の新たな課題に取り組む事業者を支援する。 １　予防管理適格者養成事業 ２　食品安全計画等作成支援事業　など	米国において食品の安全性向上を目的に制定された「米国食品安全強化法」（ＦＳＭＡ）の規定の一部が米国で流通する食品の製造・流通に係わる県内事業者に対しても平成29年秋から適用されることを踏まえ、引き続き米国向け食品輸出ができるよう県内事業者を支援した。
				推進	四国４県連携販路開拓支援事業費 【優れた技術と地域の魅力でカネとヒトを呼び込む！愛媛の営業力強化事業】	四国４県共同で東アジア地域向けの販路開拓支援や将来有望な国への新規販路開拓に取り組むなど、県内企業の海外販路開拓を支援する。 １　県産品の販路開拓サポートの実施 ２　東アジア（タイ・台湾）販路開拓の実施　など	著しい経済成長が続く中国を中心とした東アジア等をターゲットに、四国４県が連携して取り組むことにより、四国産品の販路開拓・拡大や四国ブランドの浸透に寄与した。
				推進	海外経済交流推進事業費 【優れた技術と地域の魅力でカネとヒトを呼び込む！愛媛の営業力強化事業】	経済交流協定等を締結している政府機関（中国や台湾など）との交流を推進するため、企業ミッション等の相互派遣や商談会の開催、新たな連携施策の検討などに取り組んだ。	中国遼寧省のから介護人材の育成を目的とした留学生を受入れることで、地方政府や関係機関との交流を図った。また、中国大連市で開催された展示会への県内企業の出展を支援することで、経済の交流促進につながった。

基本目標	施策項目		施策概要		再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
Ⅰ 地域に働く場所をつくる・ひとを呼び込む	(1)	産業力の強化と成長産業の育成	⑤	県内企業の営業力強化と販路拡大に向けた支援		推進	ものづくり企業アジア販路拡大強化事業費 【優れた技術と地域の魅力でカネとヒトを呼び込む！愛媛の営業力強化事業】	県内経済団体によるアジア地域への海外ミッションの派遣等に併せて、知事によるトップセールスやビジネス商談会の開催協力を行うことにより、海外事業展開を目指す県内ものづくり企業の販路開拓を支援した。	ベトナムにおいて知事トップセールスを実施したほか、過去に台湾、インドネシア、タイ、フィリピン等で実施したトップセールスやビジネス商談会を契機として、各国で現地企業等と県内企業との個別商談会を開催し、フォローアップを行った。現地メーカーとの提携や成約に発展する等、海外事業展開を目指す県内ものづくり企業の側面支援を行うことが出来た。
						推進	松山港定期貨物航路振興事業費 【優れた技術と地域の魅力でカネとヒトを呼び込む！愛媛の営業力強化事業】	松山港利用促進協議会を通じた荷主への助成等により、松山港の航路の維持拡大と瀬戸内経済圏の貿易拠点としての発展を図った。	松山港利用促進協議会を通じた荷主向け及び船社向けインセンティブ事業やポートセールスの実施等により、松山港への集荷に寄与し、輸出入の貿易拠点としての機能強化を図った。
						推進	東アジア営業戦略強化事業費 【優れた技術と地域の魅力でカネとヒトを呼び込む！愛媛の営業力強化事業】	国内の食品専門商社等との連携による県産品の販路拡大と、シンガポールの職員駐在による現地情報の収集と県内企業の支援等を行った。	東アジア地域等において複数の商流を開拓し、既に商流が確立している国内の食品商社等との連携により県産品の販路拡大を図るとともに、シンガポール駐在職員を通じて東南アジアにおけるにおける県内企業の販路開拓、営業強化への活動を効果的に支援した。
						推進	愛媛の優れたものづくり技術情報発信事業費 【優れた技術と地域の魅力でカネとヒトを呼び込む！愛媛の営業力強化事業】	大都市で開催される集客力の高い大型展示会への出展や金融機関等との連携による大手企業とのマッチングにおいて、愛媛ものづくり企業の優れた技術力の知名度向上や理解促進を図るとともに、大手企業と県内企業の商談展開を支援した。	大都市で開催される集客力の高い展示会への出展や、金融機関や産業支援機関との連携による大手企業とのマッチングにより、県内ものづくり企業の優れた技術力の知名度向上や、具体的な商談展開に繋げることが出来た。
						推進	戦略的ビジネスマッチング支援事業費 【優れた技術と地域の魅力でカネとヒトを呼び込む！愛媛の営業力強化事業】	愛媛ものづくり企業「スゴ技」データベースの構築など情報発信を一過性のものとせずビジネスに直結させるため、各支援機関等の経験豊富なコーディネータノウハウを活用しながら県内外の企業によるビジネスマッチングを行うなど、県内企業の販路拡大を支援した。	各支援機関の経験豊富なコーディネータノウハウを活用しながら、県内外企業とのビジネスマッチングを行い、新規成約獲得へ繋げることができた。 また、「愛媛のスゴ技」製品・技術等交流会を開催することで、商談展開に繋げることが出来た。
						推進	ジェトロ愛媛貿易情報センター等運営費 【優れた技術と地域の魅力でカネとヒトを呼び込む！愛媛の営業力強化事業】	「愛媛貿易情報センター」等の円滑な運営を確保し、貿易・投資相談、海外ビジネス情報の提供、人材育成支援など、県内産業の国際化を推進する。 1　愛媛貿易情報センター運営 2　ジェトロ・愛媛産業国際化センター運営 など	本県の通商振興、産業の国際化を推進するため、愛媛貿易情報センターやジェトロ・愛媛産業国際化センターの運営を確保し、県内企業の輸出支援や情報収集等を効果的に実施できた。
						推進	伝統的特産品クールエヒメ戦略事業費 【地域の強みと技術を活かした実需の創出！ＥＨＩＭＥものづくり関連産業活性化支援事業】	外国人の嗜好にあった伝統的特産品の商品開発・ブラッシュアップの支援や若者を対象としたワークショップなどを開催し、海外への県産品ＰＲと担い手の発掘につなげる。	県指定の伝統的特産品について、外国人の嗜好にあった商品開発・ブラッシュアップ支援を行い、3分野3商品の商品開発を行った。また、次世代を担う若者にその魅力を体験するワークショップを行ったほか、商品開発等のアイデアを積極的に出してもらうとともに、3商品のPRポスターを作成し担い手の発掘・育成に努めた。

基本目標	施策項目		施策概要		再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
Ⅰ 地域に働く場所をつくる・ひとを呼び込む	(1)	産業力の強化と成長産業の育成	⑤	県内企業の営業力強化と販路拡大に向けた支援		推進	西安観光・物産情報拠点運営事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	アトムグループから無償利用の申し出があった西安市内高級ショッピング街内の店舗スペースを愛媛の観光等の情報発信拠点として運営し、愛媛の魅力を現地関係者にＰＲする。	西安で初となる日本の自治体の情報発信拠点であり、アンテナショップにおける観光情報発信や愛媛観光説明会を実施する等積極的にPRした結果、松山－上海便を利用して本県に来訪する観光客数が増加した。
						推進	県農林水産物輸出促進事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	輸出障壁が低く、比較的所得が高い台湾・マレーシア等において、本県の農林水産物が現地の消費者に定着することを目的とした販売促進活動の支援を行った。	事業の実施により、残留農薬基準が厳しく、平成26年度から停滞していた台湾向け露地栽培の温州みかんの輸出を再開することができた。また、マレーシアでも新規商流を構築することができた。これらの結果、愛媛県が関与するかんきつ輸出量は、過去２番目に多い28.4トンとなった。
						推進	愛媛あかね和牛ブランド力強化対策事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	愛媛あかね和牛のブランド化を図るため、ファンづくりを主眼に据え、県内外のレストフェア等効果的なＰＲを実施した。 １　「えひめ食の大使館」による愛媛あかね和牛ＰＲ事業 ２　大都市圏における愛媛あかね和牛ブランド力強化対策事業	全国的に有名なシェフ、富裕層や女性をターゲットに幅広いＰＲ事業を展開することにより、県内外での知名度が向上し、レストラン等での取り扱いが増えるなど、成果が上がった。
						推進	愛媛クィーンスプラッシュＰＲ強化対策事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	県オリジナル柑橘品種「甘平」の最上位等級「愛媛クィーンスプラッシュ」の「愛媛生まれの高級かんきつ」としての認知度向上、イメージ定着のため、首都圏の高級果実専門店において集中的なＰＲ販売、試食宣伝を実施した。	販売促進活動を積極的に展開することにより、高値販売がマスコミに取り上げられるなど、県内外での知名度が向上した。
						推進	県産材輸出支援事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	県産材の輸出促進を図るため、プレカット材や完成品の営業活動を強化し、県産材の需要拡大・品質向上を図った。 １　高付加価値商品PR事業 ２　内装材輸出促進事業	県産材の販路拡大を推進するため、国内外の営業担当者と連携し、愛媛ブランド材「媛すぎ・媛ひのき」等の営業活動を行っており、海外での商談等も増加し、特に韓国においては、関心が高まっている木造軸組工法のPRを目的とした県産材モデルハウスの建築を支援した。
						推進	伊予の媛貴海プレミアム化推進事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	養殖魚スマ（県ブランド名「伊予の媛貴海」）ついて、高級路線にこだわったプロモーションを展開することで、希少性の高いプレミアムな愛育フィッシュとして価値の向上を図った。	5月には、完全養殖媛貴海の定期出荷式を行うとともに日本橋三越で販売した。また、テレビでスマ料理を放送することなどで、プレミアムな愛育フィッシュとしての認知度の向上につなげることができた。 併せて、養殖生産者への支援を実施することで、良好な養殖生産体制の維持につながりつつある。
						推進	水産物輸出促進事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	アセアン、中東諸国への輸出を支援するため、商談会への出展や「愛育フィッシュ」のプロモーション活動を行った。 １　海外の商談会等への出展 ２　愛育フィッシュのプロモーション活動　など	『愛育フィッシュ輸出促進共同企業体』への参加企業が商業ベースで行うアセアン、中東諸国などに対する「クロマグロ」や「みかんフィッシュ」を核にした新規販路開拓などを支援した。

基本目標	施策項目		施策概要		再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
Ⅰ 地域に働く場所をつくる・ひとを呼び込む	(1)	産業力の強化と成長産業の育成	⑤	県内企業の営業力強化と販路拡大に向けた支援		推進	水産えひめ販路拡大支援事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	国内最大規模の水産物展示商談会「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」に愛媛県ブースを出展するとともに大消費地を対象とした販売促進活動を行い、県産水産物の販路拡大につなげた。	国内最大規模の水産物展示商談会「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」に愛媛県ブースを出展するとともに、大消費地を対象とした販売促進活動を行い、県産水産物の販路拡大につなげた。
			⑥	次世代の成長産業へのチャレンジ支援		推進	地域経済分析システム活用促進事業費 【地域の強みと技術を活かした実需の創出！ＥＨＩＭＥものづくり関連産業活性化支援事業】	ビッグデータ等に基づく効果的・効率的な政策立案の普及を図るため、国の地域経済分析システム（ＲＥＳＡＳ）を活用した市町の取組み支援を行った。	28年度の分析結果を効果的に活用するため、「八幡浜・大洲地域」をモデルケースとして、政策立案の提案を行い、報告会も実施した。 また、県内中学生を対象とした研修会等を実施した。
						推進	愛媛産柑橘ナノファイバー実用化事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	製造効率化技術や脱水による軽量化等保存技術の研究を進め、特許出願を行うとともに、食品素材化、新規用途の利用研究を行った。 １　柑橘ナノファイバーの特許出願 ２　柑橘ナノファイバーの食品素材化の研究 など	県が愛媛大学や産総研中国センター等と共同で研究してきた「柑橘加工残渣からのＣＮＦ作製」について、商品化へ向けた、特許出願、食品素材化、用途開発の研究を行うことができた。
						推進	愛媛セルロースナノファイバー関連産業振興事業費 【地域の強みと技術を活かした実需の創出！ＥＨＩＭＥものづくり関連産業活性化支援事業】	愛媛県独自のバイオマス資源を活用したセルロースナノファイバー製造、評価・分析、さらには地場産業を活かした実用化までを県内で行える体制を整備し、最終製品を見据えた試作品開発を行った。	本県独自のバイオマス資源を活用したセルロースナノファイバー製造、評価・分析、さらには地場産業を活かした実用化までを県内で行える体制を整備し、最終製品を見据えた試作開発を行うことができた。
						推進	医療機器関連産業推進事業費 【地域の強みと技術を活かした実需の創出！ＥＨＩＭＥものづくり関連産業活性化支援事業】	本県の高い技術力を有するものづくり企業の医療・福祉機器関連分野の新規参入から事業化までを一貫して支援するため、専門家による支援体制を構築して、参入促進と本県経済の活性化を図った。	医療関係者、アドバイザーやコンシェルジュを交えた勉強会や医療現場の見学会を開催。それらの勉強会等から組成したテーマを基に製品開発に取組んでいる企業数も順調に増加している。
						推進	戦略的技術開発プロジェクト創出事業費 【地域の強みと技術を活かした実需の創出！ＥＨＩＭＥものづくり関連産業活性化支援事業】	県内に存在する技術シーズや強みを活かした先導技術プロジェクトの発掘から事業化までをトータルに支援することで、地域の活性化、地域産業の競争力強化を図った。競争的研究資金については４件の申請のうち、２件が採択された。	プロジェクトプロデューサーを中心に、外部資金獲得を目指す公設試、大学、企業等の支援を実施し、平成29年度は４件の提案のうち２件が採択に至った。
						推進	宇宙技術・科学国際シンポジウム開催地実施事業費 【地域の強みと技術を活かした実需の創出！ＥＨＩＭＥものづくり関連産業活性化支援事業】	世界最大級の宇宙国際会議を開催する機会を活かし、教育・産業・普及啓発分野において宇宙技術等に関する様々な地元事業を実施することにより、県内の科学技術振興を図った。	6月3日～9日の7日間にわたり「第31回宇宙技術および科学の国際シンポジウム（ISTS）愛媛・松山大会を開催し、期間中は1万人もの来場があったなどシンポジウム開催を契機としたＩＳＴＳ組織委員会やＪＡＸＡ等との連携による宇宙一日出前教室や産業参入セミナーなど様々な関連事業を実施したことにより、次代を担う子どもたちの宇宙や科学への興味と関心につながったとともに、地元産業の新たな分野への挑戦の契機となったなど本県の科学技術の振興に大きく寄与することができた。

基本目標	施策項目	施策概要	再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
Ⅰ 地域に働く場所をつくる・ひとを呼び込む	(1) 産業力の強化と成長産業の育成	⑥ 次世代の成長産業へのチャレンジ支援	[再]	推進	炭素繊維関連産業創出事業費 【地域の強みと技術を活かした実需の創出！ＥＨＩＭＥものづくり関連産業活性化支援事業】		
		⑦ 農林水産業の成長産業化に向けた支援		推進	えひめ産養殖クロマグロ競争力向上事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	産業技術研究所等と県内の養殖業者・ものづくり企業が連携し、クロマグロ養殖の現場が抱える課題である幼魚の歩留りの低さ、出荷時の「ヤケ肉」発生、という2つの課題解決を行うため、養殖にかかる支援器具や技術の実用化に取り組んだ。	マグロ幼魚の歩度りの低さを改善させるため、「衝突死」を防止するための研究を行った結果、マグロにはある程度色彩視覚があることが分かった。また、「ヤケ肉」については、30年度、冷却システムを導入をすることで、通常のマグロと同等の品質が保持されるかどうかを検討することとなった。
				推進	６次産業化活動支援事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	農林漁業者等の所得倍増・農山漁村の活性化のため、農林漁業者等による６次産業化への取組みを支援した。 １　６次産業化チャレンジ支援事業 ２　ろくじすとクラブステップアップ事業　など	商品のブラッシュアップや商談会への出展など販路の開拓を支援することにより、自己の農林水産物を活用した新商品の開発や販売促進など、県内農林漁業者の６次産業化に係る取組みについて成果があがっている。
				推進	一次産業女子活躍支援事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	ICTを取り入れた生産活動やSNSによる情報発信等を支援し、次世代リーダーとなる一次産業女子を育成した。 １　一次産業女子のネットワーク化 ２　女子力発揮商品開発プロジェクト	一次産業に従事する女子と県内サポーター大学・企業による「一次産業女子ネットワーク・さくらひめ」を発足し活動を開始し、２月には都道府県で初めて全国フォーラムを開催した。平成30年2月現在でメンバー76名、ネクストメンバー22名、サポーター18大学・企業である（発足時はメンバー26名、サポーター６大学・企業）。また、松山三越や田中産業等との５つの女子力発揮商品開発プロジェクトを進行中で商品化もしている。また、ネットワークのフェイスブックページを開設し活動を情報発信している。
				推進	県産かんきつ新規輸出支援事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	今後の農産物流通環境の変化に対応するため、かんきつの新たな輸出先の開拓に取り組む産地を支援した。 １　新規輸出国（カナダ）への県産品プロモーション ２　新規輸出先候補（EU）向けの園地の指定	カナダで中晩柑（紅まどんな、せとか、甘平、デコポン）の本格輸出に取り組み、平成29年度は1.9トン（28年度は1.2トン）の輸出実績となったほか、東部のトロントでレストランフェアを開催し、水産物等愛媛県産食材を使った日本料理の提供を行い、県産品のPRを行った。また、EU向けかんきつ輸出に係る園地等の登録を行った。
				推進	えひめスイーツ首都圏ＰＲ事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	首都圏及び近畿圏のカフェやスイーツ店等を活用して県産農産物のPR活動を展開し、更なるイメージアップと販売拡大を図った。 １　県産フルーツ等を使用したスイーツのPR ２　専用フェイスブックや各種イベントによる情報発信	県産農産物を使ったスイーツの提供等により、首都圏及び近畿圏の消費者に、県産農産物への関心を持ってもらい、認知度向上と販売拡大につなげることができた。
				推進	ＩＣＴ利用栽培支援システム確立事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	栽培支援システムの確立に向けた栽培基礎データ収集による野菜栽培モデルの作成と、生産者のICT活用を推進するため営農気象クラウド活用方法の実証に取り組んだ。 １　栽培支援システムの確立（きゅうり、トマト、いちご） ２　農業用ICT活用普及推進事業	トマト、きゅうり、いちごの篤農家の栽培データの収集や、生育予測システム並びに営農気象クラウドなどの農業へのＩＣＴ活用を推進することで、新技術の確立・普及につながっている。

基本目標	施策項目		施策概要		再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
Ⅰ 地域に働く場所をつくる・ひとを呼び込む	(1)	産業力の強化と成長産業の育成	⑦	農林水産業の成長産業化に向けた支援		推進	農山漁村男女共同参画強化事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	農林水産業の男女共同参画を推進するため、女性の登用や経営参画の促進、環境づくりを支援した。 1　農山漁村女性ビジョン推進会議の開催 2　女性経営参画支援講座の開催　など	愛媛県農山漁村女性ビジョンに基づき、研修会、県推進会議及び地区連携会議を開催し、女性の方針決定の場への登用や女性の経営参画等について普及啓発に努め、農山漁村における男女共同参画社会の形成を推進した結果、県が定める数値目標に対して前進した。
						推進	ＩＣＴ活用農業担い手支援技術開発事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	かんきつ農業を支える人材の育成とそれに要する時間・コストを削減するため、情報通信技術(ＩＣＴ)や人工知能(ＡＩ)などの情報システムを活用した人材育成支援技術の検討を行った。 1　農林水産研究所を中心とした情報システムの開発　など	かんきつ産業を支える担い手の人材育成を図るため、情報通信技術（ＩＣＴ）や人工知能（ＡＩ）などの情報システムを活用し、樹体情報の獲得、「匠の技」の継承、害虫発生モニタリングによる意思決定支援の技術開発に取り組むことができた。
						推進	愛媛甘とろ豚生産拡大支援事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	首都圏を中心とした県外での新たな販路開拓、新規生産農家等への支援を行うことで、「愛媛甘とろ豚」の更なる生産拡大及び養豚生産基盤の維持発展を図った。	本事業の実施により、愛媛甘とろ豚の生産目標頭数を達成できており、県が開発したブランドの普及及び生産安定を加速することができた。 ※目標：母豚導入頭数100頭→導入実績111頭
						推進	酪農生産基盤強化対策事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	高能力牛群を整備・増頭し、飼養頭数及び生乳生産量を維持拡大することにより、県酪農・肉用牛生産近代化計画の達成に向けて、本県の酪農生産基盤の維持強化を図った。	酪農家の経営コスト減少と乳用後継雌牛の確保を目的とした公共牧場預託頭数について、目標頭数を概ね達成することができた。 ※目標：預託頭数246頭→実績221頭
						推進	愛媛あかね和牛生産支援事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	子牛生産から肥育に携わる農家の技術指導や産地化を推進し、安定的かつ計画的な生産体制の構築を図った。 1　あかね和牛生産技術指導 2　産地化支援（専用飼料の購入対策、繁殖雌牛拡充対策）	本事業の実施により、愛媛あかね和牛の出荷頭数を概ね達成できており、県が開発したブランドの普及及び生産安定を加速することができた。 ※目標：出荷頭数70頭→出荷実績69頭
						推進	漁業担い手対策推進事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	漁業就業者数の減に対応するため、後継者等の所得向上の取組みを支援した。 1　漁業後継者の技術研修 2　青年漁業者グループのブランド化などの取組みを支援	低魚粉飼料を使用した養殖魚の販売促進及び柑橘等を活用した養殖魚のブランド化に取り組むことにより、収益性の改善、養殖魚のブランド化に向けた新技術の確立・普及につながっている。 平成29年度からは、壬生川地区において、青年漁業者グループ等と連携して、アサリ稚貝の保護・育成に取り組み、ブランド化の推進に向けた知見の収集ができた。
						推進	新規漁業就業者定着促進事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	ＵＩＪターン等による新規漁業就業者の定住定着促進を図るため、就業準備に必要な資格の取得や着業時の漁業経費に対して支援を行った。 1　就業に必要な各種免許の取得のための講習会の開催 2　広報ポスターの作成　など	就業準備に必要な小型船舶操縦免許や海上特殊無線技士免許講習会を開催し、参加した15名のうち12名が資格を取得した。また、県内の新規漁業就業者12名に対して着業時に必要な漁船の取得経費や燃料代等の漁業経費に対する補助を実施する等、着業後の不安解消に努めた。

基本目標	施策項目		施策概要		再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
Ⅰ 地域に働く場所をつくる・ひとを呼び込む	(1)	産業力の強化と成長産業の育成	⑦	農林水産業の成長産業化に向けた支援		推進	漁村女性いきいき活動支援事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】	女性による活力ある漁村づくりを推進するため、女性グループの起業化につながる総合的な支援・指導を行った。 １　若手漁家女性の掘り起しとワークショップの開催 ２　商品開発・研究支援事業　など	漁村女性の地元水産物を活用した加工品の開発や販売等の経済活動を支援した。
					[再]	推進	さくらひめブランド活用営業推進事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】		
					[再]	推進	愛媛産柑橘ナノファイバー実用化事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】		
					[再]	推進	県産水産物輸出促進事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】		
					[再]	推進	愛媛クィーンスプラッシュＰＲ強化対策事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】		
					[再]	推進	愛媛あかね和牛ブランド力強化対策事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】		
					[再]	推進	県産材輸出支援事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】		

基本目標	施策項目		施策概要		再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
Ⅰ 地域に働く場所をつくる・ひとを呼び込む	(1)	産業力の強化と成長産業の育成	⑦	農林水産業の成長産業化に向けた支援	[再]	推進	伊予の媛貴海プレミアム化推進事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】		
					[再]	推進	水産物輸出促進事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】		
					[再]	推進	水産えひめ販路拡大支援事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】		
			⑧	県内への企業投資拡大	―	―	―		―
	(2)	良質な雇用の場の創出と次代を担う人材の確保	①	今ある雇用・就業の場の次世代への継承支援		推進	中小企業事業継承支援事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	遅れている中小企業の事業承継への取組みを支援することにより、県内中小企業の持続的発展を図った。 1　事業承継セミナーの開催 2　事業承継サポートの実施 3　個者別の支援（課題整理・各支援機関への引き継ぎ）　など	セミナーによる意識啓発と個者支援等により、２０事業者の事業承継対策につなげることができたため。
			②	地元大学等と連携した地域産業を支える人材の地元就職の促進	[再]	推進	地元就職支援事業 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】		
			③	進学等で県外に出た若者の地元回帰		推進	若年人材育成推進事業費（Ｕターンセンター） 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	ふるさと愛媛Ｕターンセンターに専門のキャリアコンサルタントを配置し、情報発信や就職相談など、Ｕターン就職希望者への支援を実施した。	ふるさと愛媛Ｕターンセンターを介して、県内産業の振興に必要な人材確保のため、ＵＩターン就職を促進するための様々な取り組みを実施することにより、一定の成果を残すことができたと考えられるため。
						推進	Ｕターン人材等職業相談県外窓口設置事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	「ふるさと愛媛Ｕターンセンター」の県外窓口を設置することで、就職希望者等に対するきめ細やかな支援を実施した。 1　東京・大阪における職業相談・職業紹介窓口の設置　など	県外在住のＵＩターン就職希望者への支援のため、東京及び大阪に職業相談窓口を設置することにより、ＵＩターン就職希望者の利便性向上や、窓口利用者へのきめ細やかな支援を実施することができたと考えられるため。

基本目標	施策項目		施策概要		再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
Ⅰ 地域に働く場所をつくる・ひとを呼び込む	(2)	良質な雇用の場の創出と次代を担う人材の確保	③	進学等で県外に出た若者の地元回帰	[再]	推進	地元就職支援事業 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】		
			④	若者等の就職と産業人材力の強化	―	―	―		―
			⑤	雇用の質の向上の促進	―	―	―		―
			⑥	企業誘致・留置の推進	―	―	―		―
	(3)	移住・定住の促進	①	きめ細かな移住相談サービスの提供		推進	えひめの移住力総合強化事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	移住者受入体制の強化や情報発信力の強化等により、更なる移住者の呼込みを図った。 １　移住コンシェルジュの設置（ふるさと回帰支援センター） ２　「愛あるえひめ暮らしフェア」の開催　など	移住コンシェルジュの設置や「愛あるえひめ暮らしフェア」の開催などにより、情報発信力の強化と相談体制の充実に努めた。
			②	都市部居住者の地域への人材還流の促進		推進	人口問題総合戦略推進事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	移住してきたアクティブシニアが、移住先の地域特性を踏まえて起業や就業をし、それぞれの地域に貢献する本県独自の「愛媛型ＣＣＲＣ」の円滑な導入に向け、市町等の取組みを支援する。 １　愛媛型ＣＣＲＣ導入支援	ＣＣＲＣの導入を検討している県内３市町に対し、アドバイザーを派遣し、導入に向け、地域課題に則した具体的・専門的な情報提供や助言等の支援を行った。 また、県内市町間での情報共有や意見交換等を行うための報告会を開催した。（参加者25名）
						推進	移住者住宅改修支援事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	移住先決定の際、重要なポイントとなる住宅の確保について、市町と連携して、移住者に対する住宅改修の補助制度を創設した。	５市町において９件の住宅改修等に対し、補助を実施するとともに、引き続き移住フェア等において制度のＰＲに努めている。
						推進	えひめ暮らし魅力体感事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	愛媛の魅力や地域での生活を体感できる「えひめ暮らし魅力体感ツアー」により、本県への理解を深めてもらい、更なる移住者の呼び込みを図る。	都市圏を中心とする県外在住の移住希望者を対象に、愛媛での具体的な生活イメージを体感してもらう６泊７日の地域滞在型ツアーを東・中・南予で実施し、計２９名が参加、うち８名が県内へ移住した。
					[再]	推進	えひめの移住力総合強化事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】		

基本目標	施策項目		施策概要		再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
Ⅰ 地域に働く場所をつくる・ひとを呼び込む	(3)	移住・定住の促進	③	地域を支える人材の確保・育成		推進	元気な集落づくり推進事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	対策が遅れている市町の集落対策について、県が先導的な役割を担いながら、市町の取組みを強力にサポートした。 1　地域おこし協力隊の導入促進 2　集落と元気な集落づくり応援団とのマッチング	地域おこし協力隊の導入促進や集落と元気な集落づくり応援団とのマッチングについて、県が先導的な役割を担いながら、市町の取組みを強力にサポートした。
					［再］	推進	えひめ暮らし魅力体感事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】		
			④	多様な就業の支援	［再］	推進	えひめの移住力総合強化事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】		
	(4)	にぎわいの創出による交流人口の拡大	①	愛媛の豊かな観光資源をフル活用した戦略的取組みによる外需の獲得		推進	首都圏等情報発信強化事業費 【優れた技術と地域の魅力でカネとヒトを呼び込む！愛媛の営業力強化事業】	首都圏・近畿圏のメディアに対し、本県の観光・物産等の魅力ある情報をテレビ番組や記事の中で取り上げてもらうパブリシティ活動を強力に展開することにより、本県の認知度向上とイメージアップを図った。	大都市圏における愛媛県のイメージアップ等につながった。
						推進	みきゃんで発信愛媛の魅力ＰＲ事業費 【優れた技術と地域の魅力でカネとヒトを呼び込む！愛媛の営業力強化事業】	ゆるきゃらグランプリを通じて認知度が向上した「みきゃん」を活用して、首都圏等で愛媛の魅力を発信し、知名度向上やイメージアップを図った。 1　「愛媛＆みきゃん応援団」の応援活動 2　動画サイトを活用した「みきゃん」の情報発信　など	みきゃんの各種活動を通じて愛媛の物産や観光等の魅力を広く発信することができた。
						推進	愛顔感動ものがたり発信事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	愛顔あふれる感動エピソード及び愛顔の写真を県内外から募集し、表彰式イベントの開催や受賞作品の周知により本県のＰＲとイメージアップを図った。	エピソード部門において中学生以下の若い世代からの応募数が増加するなど、一定の効果が見られた。
						推進	えひめ国体・障害者スポーツ大会県民運動推進運営費（おもてなし事業） 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	えひめ国体・障害者スポーツ大会開催を契機とする心のこもったおもてなしを個人だけでなく地域が一体となって取組みを実施した。 1　リハーサル大会のおもてなし事業	平成29年度えひめ国体競技別リハーサル大会について、主催者である各市町において交付金を活用した「おもてなし事業」を実施。県産品を活用した食品等600食を、来県者の方々にふるまうことにより、愛媛のPRを行った。

基本目標	施策項目		施策概要		再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
I 地域に働く場所をつくる・ひとを呼び込む	(4)	にぎわいの創出による交流人口の拡大	①	愛媛の豊かな観光資源をフル活用した戦略的取組みによる外需の獲得		推進	障害者スポーツ大会競技会運営費（おもてなし事業） 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	会場一体となった観戦や応援につなげる取組みを実施するとともに、リハーサル大会でのお接待のこころあふれる「おもてなし」を実施した。 1　各競技会場における愛媛プラス１おもてなし事業	障害者スポーツ大会リハーサル大会及び本大会において、交付金を活用して購入した応援グッズ等により、愛媛県選手団が率先して応援団となり大会を盛り上げるとともに、リハーサル大会各競技会場において、県産品を活用した食材等を用い、来県者の方々にふるまう取組（7,810食）を実施。お接待のこころあふれる、愛媛のPRを行った。
						推進	石鎚山系魅力創生事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	県内外に石鎚山系の魅力を発信し、自然公園の利用促進と自然環境保全に関する意識の向上を図った。 1　石鎚山系エコツーリズムの強化促進 2　石鎚ヒルクライムブランド化支援事業　など	石鎚山ヒルクライムでは、参加エントリー開始から県内枠が10分で定員に達する人気イベントにまで成長してきている。また、エコツーリズムの推進については、エコツアー実施団体、参加者ともに年々増加傾向にある。 【エコツアー参加者数】 H25：136名→　H29：2,751名
						推進	サイクリング観光映像コンテンツ発信事業費 【更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業】	「サイクリングパラダイス愛媛」の実現に向け、県内でのサイクリング観光の魅力を国内外に強くアピールするため、県内サイクリング観光の魅力を紹介する映像コンテンツを制作するとともに、インバウンド対応のための多言語化やフリー提供できる写真素材の制作を行った。	本県のサイクリング観光の推進と国内外に強くアピールするため、県内サイクリング観光の魅力を紹介するとともに誘客を図る多言語版の映像コンテンツを制作した。また、フリー提供できる写真素材の制作も行い、観光ＰＲに活用した。
						推進	サイクリング観光推進事業費 【更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業】	「サイクリングパラダイス愛媛」の実現に向け、マルゴト自転車道サービスサイトの運営やサイクルトレインの運行事業など、サイクリングを核とした観光振興を図った。	サイクリスト参加型サイトの運営、サイクリスト観光サービスの向上のためのおもてなし研修会の開催、サイクルトレインの運行等を通じて、サイクリストの誘客環境を整えるとともに、国内主要サイクリングイベントにおいてＰＲ活動を行うことにより、サイクリングを核とした観光振興を図った。
						推進	しまなみ海道・国際サイクリング大会実施事業費 【更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業】	”サイクリストの聖地”しまなみ海道のＰＲ効果を活用した国際サイクリング大会を開催し、しまなみ海道の魅力を国内外に広く情報発信するとともに地域の活性化を図った。	平成30年度に開催するサイクリングしまなみ2018に向けて、実行委員会を設立し、実施計画を策定するとともに、大会ポスター・パンフレットや多言語対応の大会ホームページを作成するなど、国内外に広くＰＲをすることができた。
						推進	観光ブランド発信・誘客促進事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	本県が誇る観光資源を活かした観光プロモーションを展開し、観光のブランド化と大都市圏での知名度向上を図った。 1　観光ブランド発信事業 2　観光・物産PRイベントの開催　など	消費行動をリードする大都市圏の女性層をターゲットに「いやされて愛媛旅」をキャッチコピーに観光プロモーションを展開し、観光PR動画の再生回数が約10万回を記録したほか、多種多様なメディア露出により広告換算額が25,000千円を超えるなど、観光PRイベントの開催等も通じて新たな女子旅の聖地として本県の魅力を全国に情報発信したことにより、本県観光の定着とイメージ向上につなげた。
						推進	愛媛県コンベンション誘致事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	本県開催のコンベンションを誘致促進することにより、本県のイメージアップ、観光産業の振興及び地域活性化を図った。 1　コンベンション開催支援事業	コンベンション誘致活動の支援により、30件の誘致に成功し、県内宿泊延べ人数が40,000人を超えるなど本県の観光振興及び地域活性化に大きく寄与した。

基本目標	施策項目		施策概要		再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
Ⅰ 地域に働く場所をつくる・ひとを呼び込む	(4)	にぎわいの創出による交流人口の拡大	①	愛媛の豊かな観光資源をフル活用した戦略的取組みによる外需の獲得		推進	えひめファンづくり推進事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	県内観光施設等の情報を提供する観光アプリの利用促進により、観光客の県内周遊を促し、えひめファンの増加を図った。 1　えひめファンづくりシステムの保守・管理 2　えひめファン倶楽部の運営　など	観光アプリを通じた観光客等への観光情報の提供やスタンプラリー企画の充実により、ユーザー数が約2,700名増加（対前年度末比約34%増）したなど多くのえひめファンの獲得につながった。
						推進	いやしの南予観光プロモーション推進事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	大政奉還150年にあたり、全国的にこの時代に注目が集まることから、「歴史・町歩き」を主要テーマとして取組みを展開する。 1　「いやしの南予」観光プロモーション事業 2　「いやしの南予」誘客促進事業　など	えひめいやしの南予博2016の成果を継承し、イベント終了後も「いやしの南予」ブランドの醸成や一層の魅力発信を進めるため、南予広域連携観光交流推進協議会を中心に、全国に対して南予を訴求する取組みを実施した。
						推進	東予東部圏域振興イベント準備事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	平成31年度に地域活性化イベントを実施することとし、そのイベントの準備に取り組む。 1　実行委員会準備会及び基本計画の策定　など	平成31年度に開催する東予東部圏域振興イベントに向けて、実行委員会を設立し、基本計画及び実施計画の策定や機運醸成に向けたシンポジウム等の開催を行った。
						推進	愛媛版ＤＭＯ推進事業費 【チーム愛媛による「儲かる観光」の確立を目指して！愛媛版ＤＭＯ推進事業】	県観光物産協会を核とする愛媛版ＤＭＯを設立し、関係機関との役割分担・連携のもと、民間と一体となった営業・誘客活動を協力に推進する。 1　愛媛版ＤＭＯの運営 2　営業・誘客等の活動　など	地域間競争に勝ち抜き、効果的な誘客を図るため、本県民間サイドの拠点である（一社）愛媛県観光物産協会を核とする愛媛ＤＭＯを設立し、関係機関との役割分担・連携の下、民間と一体となった誘客活動に努めた。
						推進	サイクリング国際観光事業費 【更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業】	サイクリング観光資源を活用した海外からのサイクリングツアーの造成促進に向けた支援を行うとともに、台湾や韓国、中国へのサイクリングプロモーション隊の派遣を通じて、プロモーションやサイクリスト交流を実施した。	台湾や中国、香港、韓国からのサイクリングツアーが増加するとともに、サイクリングプロモーション隊等の派遣を通じて、各国・地域との間でのサイクリング交流を拡大、深化させ、今後の誘客に繋がる基盤を構築することができた。
						推進	南予地域農業遺産推進協議会（仮称）運営費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	関係機関による推進体制を構築するとともに、県内外における認知度向上を図った。 1　協議会の開催 2　シンポジウムの開催	事業の実施により、地域住民において、南予地域の遺産的価値の再認識が進むとともに、農業遺産の申請及び認定に伴い、遺産的価値のある地域としての認知度が向上したものと認められ、Ｉターン・Ｕターン等による就農人口の増加や農業遺産を活用した地域活性化が期待できる。
			②	広域周遊型の観光の更なる振興		推進	新観光周遊ルート創出事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	ルート設定のない地域やルート間をつなぐ連携を行い、地域の魅力を発信するとともに、新たな観光周遊ルートの創出や旅行商品造成等を促進し、観光客誘客と地域活性化を図った。	中国地方の「やまなみ街道」と「しまなみ海道」を活用した広島県・島根県・鳥取県との連携や、古くから航路で繋がりの深い大分県との連携により、観光誘客と地域活性化を図った。

基本目標	施策項目	施策概要	再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
Ⅰ 地域に働く場所をつくる・ひとを呼び込む	(4) にぎわいの創出による交流人口の拡大	③ 国際観光・交流の振興		推進	国際観光推進事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	外国語ボランティアガイドのスキルアップ研修の実施や海外エージェント・メディア等の招聘、海外の旅行社に対する本県への送客の働き掛けを行うなど、外国人観光客の来訪を促進し、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図った。	外国人観光客の受入環境の整備や、海外の旅行社向けプロモーション、メディアによる情報発信等を通じて、外国人延宿泊者数が増加（H28：146,700人→H29：169,320人）するなど、本県への誘客拡大につながった。
		③ 国際観光・交流の振興		推進	松山空港利用促進事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	松山空港の国際線等の利用促進を図るため、松山空港利用促進協議会を通じて官民一体となった取組みを展開する。	松山空港国際線の利用促進対策の取組みにより、ソウル線は92.1％と高い搭乗率を確保するとともに、上海線の搭乗率も64.8％まで回復した。
				推進	松山空港国際線緊急対策事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	インバウンド、アウトバウンド両面からの緊急対策を講じることにより、安定的な運航・路線維持に向けた搭乗率の向上を図る。 1　中国インバウンド強化対策 2　中国アウトバウンド対策　など	松山・上海線の路線維持のため、インバウンド・アウトバウンド両面から利用促進対策を進めた結果、29年度の搭乗率が64.8％まで回復し、外国人利用者は4年連続で過去最高を記録した。
				推進	外国人観光客誘致推進事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	東京オリンピック等に向け、海外における認知度向上や受入環境整備を図るとともに、東京都や他県等と連携して、外国人観光客の誘致を推進する。 1　国及び周辺県と連携した誘客促進事業 2　東京オリンピック・パラリンピック等に向けた誘客促進事業　など	国や周辺県と連携したプロモーションや、東京都等と連携した東京プラスワンの訪問地としての情報発信等を通じて、外国人延宿泊者数が増加（H28：146,700人→H29：169,320人）するなど、本県への誘客拡大につながった。
				推進	台湾観光交流促進事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	台湾でのプロモーションを強化するとともに、定期便運航を視野に入れた、インバウンド・アウトバウンド両面での送客・誘客を促す。 1　台湾チャーター便運航支援事業 2　台湾プロモーション活動推進事業	地域活性化に大きな期待ができる台湾との観光交流を推進するため、台湾チャーター便への支援を行うとともに、台湾におけるプロモーションを強化した結果、台湾とのチャーター便が過去最高の24往復運航され、チャーター便を利用した多くの観光交流が実現した。
				推進	松山空港国際線ＬＣＣ誘致事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	国際線ＬＣＣ誘致のため、海外（韓国）での愛媛県の知名度向上、誘客を促進するための各種ＰＲ事業を実施する。 1　海外での愛媛県認知度向上事業 2　国際線ＬＣＣ就航広報事業	運休となっていた松山・ソウル線が29年11月から再開するとともに、就航後の集中的なプロモーション活動により、3月までの搭乗率が92.1％に達し、地域レベルでの交流促進や韓国人観光客増加による県内経済活性化に大きく貢献した。
			[再]	推進	西安観光・物産情報拠点運営事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】		

基本目標	施策項目		施策概要		再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
Ⅰ 地域に働く場所をつくる・ひとを呼び込む	(4)	にぎわいの創出による交流人口の拡大	④	自転車新文化の推進	[再]	推進	サイクリング国際観光事業費 【更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業】		
						推進	自転車新文化推進事業費 【更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業】	本県の提唱する「自転車新文化」を普及・拡大させ、「愛媛県をサイクリングパラダイスへ」の実現に向けて、引き続き各種施策を総合的・戦略的に推進し、交流人口を拡大させ地域の活性化を図った。	本県が持つサイクリングに適した環境を県内外にＰＲしするとともに、県内の自転車の利用者のすそ野の拡大のため、初心者層、女性層やファミリー層に対する自転車の魅力の情報発信を行うことで人口交流の拡大につなげることができた。また、サイクリングガイドについては、ある程度のスキルを要するため微増となったため、30年度にはレベルアップのためのセミナーを開催するなど、増加に向け、取り組んでいく。
							ＫＰＩ （目標年月日）	サイクリングガイドの養成人数 （H32） 事業開始前　—	実績　H28　21人 H29　25人 目標値　100人
						推進	四国一周サイクリング推進事業費 【更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業】	「サイクリングアイランド四国」の実現に向けて、四国一周体験ツアー隊の結成や四国一周に係るプロモーション用素材の制作、情報発信などに取組み、サイクリストの誘客による地域活性化を図った。	四国一周を目指すサイクリストを登録し、スタンプラリー等により完走証や記念品を交付する「チャレンジ1000キロプロジェクト」、学生等による四国一周をサポートし、若者目線で四国の魅力を発信してもらう「若者応援プロジェクト」、SNSと連動した四国一周ポータルサイトの立ち上げ等により、四国一周サイクリングの認知度向上を図った。
						推進	サイクリストマナー向上推進事業費 【更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業】	マナーアップキャンペーンを実施し、広く県民に交通安全思想の普及徹底を図るとともに、安全で快適な環境づくりを推進する。 １　サイクリストマナーアップキャンペーン等の実施 ２　自転車マナーアップの普及・啓発　など	しまなみ海道沿線のサイクルオアシスで、地域住民と協働してマナー啓発やおもてなし、清掃活動を行った。 また、サイクリングイベント等での啓発やマナーアップ交流会の実施したほか、県内のサイクリングチームの自転車マナー向上に向けた目標宣言をホームページ等で紹介することで、広く自転車マナーを普及・啓発した。
						推進	自転車安全利用促進事業費 【更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業】	「シェア・ザ・ロード」の精神の普及浸透等、自転車安全利用促進のため、「思いやり1.5m運動」の広報啓発、「ヘルメットdeおしゃれコンテスト」・「えひめ自転車安全利用フェスティバル」の開催、市町職員等対象の自転車安全利用セミナー等を実施した。	「思いやり１．５m運動」の趣旨に賛同し、運動の実践や広報活動に取り組む協力事業所等を60事業所に拡大し、更なる運動推進に取り組んだ。また「自転車ヘルメットdeおしゃれコンテスト」・「えひめ自転車安全利用フェスティバル」を開催し、県民のヘルメット着用意識の向上など、自転車安全利用の促進を図った。
						推進	アクティブシニアまるごとサイクリング事業費 【更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業】	スポーツサイクル体験会の開催やスポーツサイクルを通じた仲間づくりやツーリング活動を継続的に行えるよう愛好会を中心としたシニアサイクリング活動の支援を行い、サイクリングを通じた高齢者の生きがい及び健康づくりを推進した。	平成29年度は、サイクリング初心者を対象に食やイベント体験の要素を加味したスポーツサイクル体験会「ヘルシー・ライド」を実施し、平均年齢68歳の計19名がコースを無事完走した。また、さらにレベルの高いサイクリングを求めるシニアのために、チャーター船を活用して離島を巡る「チャレンジ・ライド」も実施し、平均年齢67歳の計30名のシニアが走行距離50キロを無事完走した。参加者アンケートでは、ほぼ全員が体験会に「満足」と回答しており、シニアの健康意識の向上や友情・生きがいづくりのきっかけを得ることができる事業となっている。

基本目標	施策項目		施策概要		再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
Ⅰ 地域に働く場所をつくる・ひとを呼び込む	(4)	にぎわいの創出による交流人口の拡大				推進	高校生自転車交通マナー向上対策事業費 【更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業】	県立高校生を対象に「シェア・ザ・ロード」に沿った交通安全教育の強化を図るため、交通安全教室の開催や学校周辺の交通危険個所マップの作成、交通安全啓発ポスターの作成・掲示、サイクリング体験による自転車マナーの実践を行った。	実践指定校において生徒が主体的に活動することで、自転車交通マナーの向上やルール遵守への意識が一層高まったほか、道路交通法等の交通ルールや自転車の通行方法の正しい理解、自転車運転技術や自転車の安全点検・整備の知識習得につながった。 また、実践指定校で作成した啓発ポスターを近隣校で掲示したり、チラシを地域に配布したりすることで、全県的な自転車交通マナー向上への啓発及び事故防止が図られた。
			④	自転車新文化の推進	［再］	推進	サイクリング観光映像コンテンツ発信事業費 【更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業】		
					［再］	推進	サイクリング観光推進事業費 【更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業】		
					［再］	推進	しまなみ海道・国際サイクリング大会実施事業費 【更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業】		
					［再］	推進	サイクリング国際観光事業費 【更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業】		
			⑤	競技スポーツの振興		推進	東京オリンピック事前合宿等誘致推進事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業費】	県内競技団体と共に現地競技団体を訪問して、合宿誘致のプロモーションを実施するとともに、相手国競技団体会長等を招へいし、県内視察を実施した。また、県民の東京大会に対する機運醸成を図るため、シンポジウムの開催等を実施した。	2020年東京大会の事前合宿誘致の実現に向け、ターゲット国の競技団体を訪問したり、同団体会長等を招へいし県内の施設視察をしてもらうなどに積極的に働きかけを行い、合宿が内定した競技も出てきている。 また、オリンピックへの機運醸成を図るため、地元オリンピアン等を招へいし、シンポジウムを開催した。
						推進	スポーツ交流推進事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業費】	スポーツイベントの開催支援や合宿の誘致に取組み、競技スポーツの振興やスポーツによる地域活性化、交流人口の拡大を図る。 1　スポーツイベント誘致事業 2　えひめ台湾スポーツ交流推進事業　など	えひめ国体・えひめ大会の開催年であることから、県内へのスポーツイベント誘致の動きは低調であったが、U15野球アジアチャレンジマッチやオープンウォータースイミング日本代表合宿、県内団体と台湾とのスポーツ交流事業に補助するなど、計7件の事業に補助を行った。 また、大学対抗テニス王座決定試合の誘致に取り組み、30年度の本県開催が決定した。

基本目標	施策項目		施策概要		再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
						推進	ラグビーワールドカップ2019チームキャンプ誘致事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業費】	チームキャンプ地の誘致を実現し、取組みを契機とした地域活性化を図るとともに、競技力向上及び機運醸成等、スポーツ振興を図る。 １　組織委員会等の関係機関との協議や本県のＰＲ ２　誘致対象国競技団体を訪問してプロモーション　など	ラグビーW杯2019のキャンプ地誘致のため、オーストラリアをターゲットとして競技団体を訪問し、積極的にプロモーションを行うとともに、求めに応じ、受入れ条件の提示など行ったところではあるが、国内の試合会場との距離等、地理的な要因で本県での実施が困難であるとの回答を得た。しかしながら、この活動が東京オリンピックの男子7人制ラグビーの日本代表候補の合宿誘致につながった。
Ⅱ　出会いの場をつくる・安心して子どもを生み育てる	(1)	若い世代の自立と出会いの支援	①	結婚支援センターを中心とした様々な出会いの場の提供	―	―	えひめ結婚支援センター運営事業費（28,345千円；国1/2、県1/2）		―
			②	未婚化・晩婚化対策の推進	―	―	同上		―
	(2)	子ども・子育て支援の充実	①	妊娠～子育てまでの切れ目のないワンストップ相談・支援体制の構築	―	―	地域少子化対策強化事業費（39,130千円；事業メニューにより。国1/2、10/10、2/3） 子育てワンストップサポート推進事業費（2.928千円） 子育て家庭支援事業費（1,150,907千円；国1/3、県1/3、市町1/3）		―
			②	県民総ぐるみによる安心して子どもを生み育てることができる社会環境づくりの推進	―	―	児童福祉施設等整備事業費（134,648千円；事業メニューにより国2/3、1/3外） 認定こども園施設等整備事業費（435,379千円；国1/2、1/3外） 保育対策総合支援事業費（50,515千円；国1/3～3/4） 地域子育て助け合い事業費（2,865千円；三浦保愛基金事業） 地域子育て支援グループ育成支援事業費（中予）（777千円） 放課後児童支援員等研修事業費（3,106千円；国1/2、県1/2）		―
			③	子ども・若者の社会的自立と社会参加の促進	―	―	ひきこもり対策推進事業費（7,055千円；国1/2、県1/2） 地域を担う心豊かな高校生育成事業費（3,750千円）		―
	(3)	子どもや親子に安心な環境の整備	①	ひとり親家庭等での子育て支援の推進	―	―	ひとり親家庭自立支援事業費（23,880千円、国3/4、県1/4） ひとり親家庭学習支援ボランティア派遣事業費（8,028千円；国1/2、県1/2）		―
			②	子ども・若者の健全育成	―	―	「いじめ相談ダイヤル24」開設事業費（7,599千円；国1/3、県2/3） いじめＳＴＯＰ愛顔の子どもサポート事業費（7,703千円）		―
			③	確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てる教育の推進	―	―	愛媛学びのシステム活用事業費（22,234千円） 愛ある愛媛の道徳教育推進事業費（7,680千円；一部国10/10） ＩＣＴスキルズ向上事業費（1,006千円） 高校卒業者職場定着促進事業費（3,432千円） えひめ子どもスポーツＩＴスタジアム事業費（1,239千円）		―

基本目標	施策項目	施策概要	再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
Ⅱ 出会いの場をつくる・安心して子どもを生み育てる	(4) 子育てと仕事の両立支援	① 男女がともに子育てが出来る環境の整備促進	—	—	えひめ女性活躍加速化事業費（10,947千円；国1/2） 児童福祉施設等整備事業費（134,648千円；事業メニューにより国2/3、1/3外） 認定こども園施設等整備事業費（435,379千円；国1/2、1/3外） 保育対策総合支援事業費（50,515千円；国1/3～3/4） 地域少子化対策強化事業費（39,130千円；国1/2、10/10、2/3） 子育てワンストップサポート推進事業費（2,928千円）		—
		② えひめ子育て応援企業の増加		推進	仕事と家庭の両立支援促進事業費 【人口減少社会に立ち向かう！エヒメ県民総活躍社会の実現化事業】	サポーターに加え社会保険労務士の有資格者をアドバイザーとして新設し、企業訪問を通じて「えひめ子育て応援企業」及びその上位認証制度となる「えひめ子育て応援ゴールド企業」の認証取得や育児休業等の両立支援制度が利用しやすい職場環境づくりを支援した。また、ワーク・ライフ・バランス促進セミナーを開催し、事業主や人事労務担当者の意識啓発を図った。	認証取得に必要な手続きに不慣れでマンパワーに余裕のない中小企業が多い中、サポーター及び社会保険労務士の資格を有するアドバイザーの訪問により、きめ細かな支援を展開することで、認証企業の拡大につながった。
		③ 仕事と子育てをはじめとした生活が両立できる快適な労働環境の整備	［再］	推進	仕事と家庭の両立支援促進事業費 【人口減少社会に立ち向かう！エヒメ県民総活躍社会の実現化事業】		
		④ 男女共同参画社会づくり	［再］	推進	農山漁村男女共同参画強化事業費 【農業のグローバル化で生き残るための競争力強化！愛媛の農林水産業活性化事業】		
Ⅲ 元気な地域をつくる・いつまでも地域で暮らせる	(1) 安心できる環境の整備	① 複数の市町による広域連携の推進による人口減少社会に対応した拠点づくりの取組支援	—	—	—	—	—
		② 人口減少社会に対応したコンパクトな地域コミュニティの形成支援		推進	持続可能な集落づくりサポート事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	地域づくり協働体構築による新たな地域運営の仕組みづくりのノウハウの周知や各種支援を行うことにより、持続可能な集落づくりを促進する。 1　地域づくり協働体構築のサポート 2　集落間情報交換・ネットワークの構築　など	地域づくり協働体のモデル事例の構築の支援について、29年度も２地区において実施するとともに、住民自らが地域の将来を考える契機とする「集落活性化シンポジウム」を開催し、持続可能な集落づくりを支援した。

基本目標	施策項目	施策概要	再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
Ⅲ　元気な地域をつくる・いつまでも地域で暮らせる				推進	商店街活性化支援事業 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	商店街の賑わいを回復するため、商店街等が行う課題解決に向けた取組みを支援する。 1　商店街活力ＵＰ事業 2　住民提案型商店街支援事業　など	商店街等が行う主体的な取組みを資金面で支援し、商店街の課題解決に寄与した。
		③ 地域を結ぶ交通体系の整備		推進	公共交通人材確保対策事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	公共交通等の人材確保等に取り組み、地域の基盤産業である運輸業の振興を図った。 1　公共交通等の人材確保事業 2　運輸業の理解促進事業	慢性的な人材不足となっている公共交通や物流を担う運転手や船員の人材確保や運輸業への理解促進に向け、①交通事業者や業界団体による合同企業説明会の開催、②運輸の業種・職種の理解を促進するための冊子の作成・配布、③運輸業の職場見学会を実施し、運輸業の人材確保に向け、運輸業界への理解が進んだ。
		④ 県外と県内各地を結ぶ交通ネットワークの整備	—	—	地域高規格道路大洲・八幡浜自動車道整備事業費（2,250,525千円；国5.5/10） 今治小松自動車道用地補償受託費（22,579千円） 地域公共交通再編実施計画策定費（19.994千円） 松山外環状道路用地補償受託費（12,919千円） ［別施策においても活用］ 松山空港利用促進事業費（3,010千円） 松山・札幌線利用促進事業費（8,750千円） 松山空港国際線緊急対策事業費（29,156千円） 松山空港国際線ＬＣＣ利用促進事業費（80,982千円）		—
		⑤ 地域の福祉・介護・医療を支える環境づくり	—	—	民生児童委員・主任児童委員費（163,249千円；一部国1/2） 福祉・介護人材確保対策事業費（33,990千円；地域医療介護総合確保基金を充当） 包括的地域福祉推進体制構築事業費（2,760千円；国3/4、県1/4） 地域医療医師確保奨学金貸付金（196,149千円） 医師確保対策推進事業費（4,415千円；地域医療介護総合確保基金を充当）		—
	(2) 心豊かに暮らせる地域づくり	① 快適な暮らし空間の実現	—	—	街路事業費（1,535,234千円；国57.2/100） 都市景観形成事業費（861千円） 道後公園史跡環境整備事業費（51,578千円；国1/2、県1/2） 南予レクリエーション都市公園施設整備費（202,947千円；国1/2、県1/2） 木造住宅耐震化促進事業費（135,000千円） 木造住宅耐震診断緊急促進事業費（17,860千円）		—
		② 個性豊かな地域文化の創造と承継	—	—	県民総合文化祭開催事業費（71,787千円） 美術館展示事業費（80,140千円）		—
		③ スポーツを通じた豊かで活力ある地域づくり		推進	地域密着型プロスポーツにぎわい創出事業費 【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	県内のプロスポーツ３球団と県民が交流する機会を設けるため、プロスポーツ球団県民交流フェスタを開催した。また、新規観戦者の獲得や各球団のファンの相互観戦を促すためポイントラリー事業を実施し、応援機運を醸成した。	３球団の選手と県民が交流する県民交流フェスタに加え、ポイントラリーを実施したことにより、新たなファンの獲得や選手・球団への愛着を育成するとともに、各球団のファンの相互交流や相互の試合観戦など、新たなプロスポーツ支援の取組により観戦スタイルの提案など応援機運の醸成に繋がった。

基本目標	施策項目		施策概要		再掲	交付金	事業名	事業概要	評価
Ⅲ 元気な地域をつくる・いつまでも地域で暮らせる	(3)	地域連携による協働のきずなづくり	①	全ての県民が参画する社会の実現		推進	地域創生担い手ＮＰＯ自立促進事業費【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	雇用の受け皿や地域活性化の担い手として期待されるＮＰＯの自立を促進するため、ＮＰＯ自立モデル事業の実施や成功モデルの情報発信などを行った。	多様化する地域課題の解決にあたり、地域活性化の担い手として期待されるＮＰＯが、自ら資源（人、物、資金）を獲得し、地域社会へ還元（再投資）する成功モデルの創出・見える化を図ることで、ＮＰＯの自立促進に資することができた。
			②	地域集落におけるコミュニティ活動の活性化推進	［再］	推進	持続可能な集落づくりサポート事業費【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】		
	(4)	地域を支える担い手の確保	①	地域を支える人材の育成		推進	地域に生き地域とともに歩む高校生育成事業費【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】	地域と連携した魅力的なプロジェクトプランの企画・実践により、生徒の計画力、コミュニケーション力などを向上させるため、教員のマネジメントスキル指導力の育成や生徒のマネジメントスキルの育成などを行った。	本事業のプロジェクトマネジメント研修に全56校の生徒、教員が参加し、企画力や実践力、意欲等が高まった結果、全56校から地域と関わる学校魅力化プランが提出された。その後、プレゼンテーション審査会により、特に優れたプランを提出した、平成30年度の実践校11校（８プラン。２プランは複数校合同）を選出できた。 また、これと並行して、平成28年度に選出された、平成29年度の実践校10校（８プラン。１プランは３校合同）がプロジェクトに取り組み、その成果を自校ホームページに掲載したり県立学校管理職研修会で発表したりするなどして普及した。
			②	地場産業に新たに就業した若者等の地域活動への参画促進	［再］	推進	持続可能な集落づくりサポート事業費【来て観て住んで！えひめの交流・定住推進事業】		